



Newsletter

No. 52

2013年5月20日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

## みんなで「原発川柳句集」をつくろう！

～五七五にこめた「時代の記録」として～

2011年3月11日に発生した東日本大震災と、それによる福島原発事故は、「スリーマイル島原発」「チェルノブイリ原発」事故と比べても、かつてない重い事態だった。それは今日なお進行中である。

私たちレイバーネット川柳班は、この原発事故発生以後、首相官邸前や、経済産業省前テントひろば、月例句会などの場で、それぞれの思いや怒り、批判を川柳という五七五の極めて短い一句に吐き続けてきた。

あれからもう二年が経つというのに、この非常時ともいえるべき事態の中で、政治の無能さと、東京電力をはじめとする責任主体のあまりにも無責任極まりない対応など、私たちの怒りはまさに怒髪天を衝くものがある。そうした思いを吐いてきた「川柳」を、この時代のひとつの記録としてまとめ、広く世の中に問い、後の世の人びとのためにも、遺しておきたいと思う。

私たちの「句」の優劣は、他者の評価にゆだね



るとしても、この時代の中に生き、脱(反)原発のデモや集会などで表された「川柳群」は、確かに、この時代を生きてきた者の証であり、時代の記録であると言えるだろう。



この主旨に賛同頂ける皆さんとともに、ぜひ「原発川柳句集」(仮称)を、まとめあげたいと思います。多くの皆さんの、参加と賛同をよびかけるものです。

2013年5月10日

レイバーネット川柳班

### ★製作基金カンパのお願い 1口2000円

「原発川柳句集」は2010年10月に発行した「がつんと一句！ーワーキングプア川柳」の第二弾として製作します。刷り部数2000部、定価はお求めやすい500円を考慮しております。完成は今秋10月の予定。句集製作に加わりたい人、大歓迎です。なお、総予算を実費だけで50万円と見込んでいますが、ゼロからのスタートで資金がまったくありません。1口2000円で製作基金を募りますので、ご協力いただければ幸いです。なお、基金協力者には句集を進呈します。5月のニュースレター発送に同封された「郵便振替」をご利用ください。

## TV Labornet レイバーネットTVの予定

2013年前期は「アブナイカク・キャンペーン」として、安倍政権批判をさまざまな角度から展開してきました。前期は以下のあと3回です。ぜひご視聴・応援宜しくお願いします。

- 53号 5月23日(木) 午後8時～9時30分
- 54号 6月13日(木) 午後8時～9時30分
- 55号 6月27日(木) 午後8時～9時30分

## <レイバー映画祭2013>

### 日本初公開『ショック・ドクトリン』

ことしのレイバー映画祭は、7月27日(土)田町交通ビル6Fホールで開催します。現在作品選定中ですが、ひとつ確実に決まっているのが、映画『ショック・ドクトリン』(2009年作品・80分・日本初公開)です。カナダのジャーナリスト、ナオミ・クラインの本の映画化ですが、チリからイラクまで現代史を網羅し、アメリカの新自由主義がどのように世界を支配したか、その神話を暴いています。ショック・ドクトリンとは、「惨事便乗型資本主義＝大惨事につけこんで実施される過激な市場原理主義改革」のことで、この映画から今の世界と日本が見えてきます。7月27日の映画祭をお楽しみに。

## レイバーネット日本 2013 年総会報告

# 財政窮迫！年会費 5000 円 (通常＋TV サポーター) をつくりました

今年のレイバーネット総会は、2月9日(土) スペースたんぼぼで開催されました。「レイバーネットTVのこれまで・これから」でのディスカッションなど、自由に意見交換が行われました。以下は、選出された運営委員・会計報告・予算案です。テレビなど活動の幅が増え、予算規模は大きくなっていますが、カンパでなんとかしのいでいる状況です。今年度から、従来の通常会員・A会員(年会費3000円)に加え、TVサポーターズクラブを兼ねたB会員(年会費5000円)をつくりました。より安定した収入確保のためです。条件のある方は、B会員の(年5000円)にご協力いただければ幸いです。(事務局)

事務所維持費	240,000円 (月2万円)
国際部活動費(翻訳)	36,000円 (前期のみ)
技術部ウェブ管理費	36,000円 (前期のみ)
サーバー新規購入費	190,025円
(*特別出費)	
<hr/>	
小計	1,545,505円
(*予算 1,311,100円)	
単年度財政差引	△82,805円

### <レイバーネット 2012 年会計報告>

松原明  
会計監査 下見徳章  
会計年度 2012年1月1日～12月31日

#### [基本財政]

●前年度(2011年12月31日)からの繰り越し	264,041円
●収入	
会費	1,086,000円 (359件)(昨年並)
カンパ	371,700円 (70件)(昨年比2倍)
雑収入(参加費・冊子・二次会余りなど)	5,000円
<hr/>	
小計	1,462,700円 (*当初予算1,320,000円)

●支出	
ニュースレター印刷・発送費	286,715円 (5回)
会議交通費	329,000円 (*増加)
郵便・宅配	26,300円
封筒印刷	62,055円
運搬タクシー	20,940円
会場費	27,400円 (会議)
賛同金ほか	3,000円
送金手数料	30,120円 (郵便振替)
消耗品雑費(コピー・二次会補填)	20,670円
謝礼(講師・依頼原稿など)	75,630円
JCA-NETサーバー	161,650円

### ●特別会計

(レイバーネットTVは別会計・次号で報告予定)

#### ★レイバー映画祭 2012

収入	240,400円
*昨年並	
支出	234,780円 (チラシ・映画代・会場費・その他)
差引	5,620円

#### ★レイバーフェスタ 2012

収入	
賛同金・当日参加費等	268,100円
*昨年比10万減	
支出	
ギャラ・会場費・チラシ制作・その他	379,735円
差引	△111,635円

### <2013年運営委員> 順不同 27名

伊藤彰信(顧問/全港湾)・河添誠(共同代表/首都圏青年ユニオン青年非正規労働センター事務局長/総研いのちとくらし研究員事務局)・安田幸弘(共同代表/技術部)・尾澤邦子(共同代表/ノレの会)・松原明(共同代表/ビデオプレス)・土屋トカチ(事務局長/映像グループ「ローポジション」)・佐々木有美(事務局次長/ビデオプレス)・武田敦(事務局次長/首都圏青年ユニオン)・松元千枝(事務局次長/ジャーナリスト)・下見徳章(会計監査/伝送便編集部)・高幣真公(国際部/APWSL日本委員会)・杜海樹(ライター)・安齋徹雄(出版ネット)・岩川保久(翻訳家)・なすび(山谷労働者福祉会館)・新田進(小川町シネクラブ)・東海林智(ジャーナリスト)・木下昌明(映画批評)・八幡純一(国労)・安並克磨(音楽家ユニオン)・森広泰平(アジア記者クラブ)・須田光照(東京東部労組)・ジョニーH(音楽班)・笠原真弓(川柳班)・杭迫隆太(首都圏青年ユニオン)・小山帥人(大阪)・木村ジョウ(関西報道部)

# メトロコマース支部の3.18非正規ストライキ たたかいとメディアはクルマの両輪

松原 明

たたかいとメディアはクルマの両輪。それをはっきり示したのが、東部労組メトロコマース支部の3月18日の非正規ストライキだった。

この日、午前10時から厚労省記者クラブで当該の記者会見があった。「これは行かねば」と10時前にクラブに入った。幹事社の「朝日新聞」に名刺を渡した。普通はこれでOKなのだが、その記者は「事前に申込みをしますか？」という。私「いつも当日でOKでしたがダメなのですか」。向こうはしぶしぶ「今回はいいですが、フリーの方は必ず書面で前日までに申し込んでください」ということだった。何か規則が変わったのかわからないが、イヤか気分でのスタートだった。

ところが、開始時間の午前10時になっても記者がほとんど現れない。結局、会見は当該労組の6人と記者側はたったの4人だった。4人の内訳は、幹事社の「朝日新聞」、「毎日新聞」の東海林智さん（レイバーネット会員）、そしてレイバーネットの松元ちえさんと私だった。当該労組の説明のあと質疑に入った。東海林さんは、前日に取材していたので、質問することがない、とのことで、結



厚労省の記者会見

局質問したのはレイバーネットの二人ばかりで「独占インタビュー」状況になった。そして、会見は当該の「団結ガンバロー」で終わった。お付き合いでも10人くらいは来るのが厚労省会見では普通だが、マスコミがこれほど「非正規労働者スト」に関心がないのかと驚いた。せつかく会見を開いても世の中に伝わっていかないのではないかと思ったが、そうではなかった。

「朝日」は書かなかったが、「毎日」の東海林さんは、午後にはすぐに一報を流した。それがヤフーニュースに転載され、「メトロ売店のスト」がネットに回り始めたのである。私たちレイバーネットは、午後のメトロコマース本社要請行動の様子を撮影した。「1年更新で、あらゆる差別に置かれ、そのうえ65歳で切り捨てはとんでもない」。非正規女性たちの怒りの行動は感動的であった。これは急がなければと、その日のうちに13分の動画に編集してYouTubeにアップしたが、あっというまにアクセスが急増した。



あとで聞いた話だが、翌日、ストをした売店の女性に多くの人が「ネット動画を見たよ」「がんばれ、応援するよ」と声をかけたという。彼女たちが励まされたのはいうまでもない。

そして、4月のメトロコマースの団交で、「瀬沼組合員の雇用延長」を会社側が認めた。まちがいになくストライキ行動の成果だった。委員長の後呂良子さんは5.1日比谷メーデーの演壇でこう語った。「条件付きだが雇用延長が実現できたのは、私たちが本気で立ち上がり、100人以上の仲間が駆けつけてくれたこと、それにメディアの力が大きかった」。



メディアで伝えること、それは問題を可視化し社会問題として広げていくこと。たたかう主体は少数人数でも、それが社会の本質を突くことで「社会的労働運動」となり、会社側の譲歩を引き出せる。メトロコマース支部の非正規ストライキはそれを見事に立証した。（レイバーネット報道部）

## 新入会員紹介

### ●官邸前デモの思いを広げたい 中村昌子

埼玉県和光市在住の中村昌子です。昨年3月に定年退職をいたしましたので、労働者の立場から離れて1年1ヵ月になります。今は「商社9条の会 東京」の呼びかけ人として講演会などの時の呼びかけ、第4金曜日は定例の会があり参加できませんが、それ以外は原発反対の官邸前抗議デモに参加しています。官邸前のスピーチは「安倍さん！」とか「あべ！」とかで始まりますが、一市民が自分の怒りをぶつけ周りの人も「そうだ！」と・・・一人一人が原発を無くそうという思いで参加しているわけですが一人ではないのだという連帯を感じます。ただ、そこに参加している人は思いは同じなわけで、その外側にいる関係ないわと思っている人にもどのように広げていくか、大本営状態になったマスコミに対抗する手段は何なのか、一人一人に地道に話しかけていくしかないのかそこが難しい悩みでもあります。レイバーネットの会員になりましたので、苦手なパソコン・ネットですがこれから活用していこうと思います。

### ●日系企業のタイ労働者と連帯つくりたい 川口英治

熊本学園大学水保学研究センターの現地調査に同行して、タイ東部ラヨン県にある工業地帯の視察とそこで労働者の権利のために闘っている労働組合を訪問してきました。1985年以降、巨額な政府開発援助ODAが投入され、石油化学や自動車産業をはじめ多くの日系企業が操業している工業地帯です。工場排水による水質汚染で井戸水が飲めなくなったり、煙突からの排煙と異臭で学校が移転を余儀なくされています。また、昨年夏には化学工場で大爆発があり50名を超える死者が出るなど、操業のあり方に多くの問題を抱えています。そのエリアだけでも100万人の労働者が働いており、労働者に対する権利侵害も頻発しているとのことでした。「日系企業との交渉のやり方などを日本の労働組合に教えて欲しい」と言われました。あらゆるチャンネルを通じてタイ労働者との連帯を築いていこうと考えています。遅ればせながらレーバーネットの会員に登録させていただいた理由でもあります。これからもよろしく。(福岡ゼネラルユニオン)

### ●クロスメディアを発信しています 井上伸

はじめまして。国公労連本部書記／国公一般執行委員の井上伸です。昨年末から月刊誌『国公労調査時報』の担当となり、ブラック企業問題の座談会や、官製ワーキングプア問題のインタビューなどを企画し、紙媒体と同時にネット動画も加えてのクロス



メーデー (代々木公園)

メディア発信をしています。それから、国公一般の「すくらむ」というブログも書いていて、これまでに1日だけで14万ビューを記録し、これを基盤にして国の機関で働く職員から年間100件の労働相談が寄せられています。最近、情報拡散に役だっているのが「togetter」で、一つのブログ記事を分解してツイートし、「togetter」でまとめることで随分拡散できますので、みなさんもチャレンジしてみてください。

### ●地方議員ムラで奮闘中です 奥山たえこ

初めまして。今回お仲間に入れていただいた、奥山たえこです。“レイバー”とはほど遠い？東京都杉並区議会議員(3期目)をしています。地方議会も既得権益の牙城で、地方議員ムラと呼べるギョーカイと化している中で奮闘中。政治的所属は、反原発・環境の「緑の党(グリーンズジャパン)」(現在国会議員数ゼロ)会員。議会では、主に住基ネットや共通番号、貧困・福祉問題などに取組み、市民活動では、ホームレス支援を地元で、労働では(女性の)均等待遇運動やユニオンにも参加しています。目下は特に子宮頸がんワクチン被害者連絡会の支援に傾注。今後ともよろしくお願ひします。

### ●横に繋がる水平に繋がる

Usay-net (ゆうせいネット)

郵便屋さんの情報・交流・運動誌、「伝送便」は、全国の郵政に働く仲間のネットワークを繋げようと努力してきました。しかし、まだまだ多くの孤立した仲間が職場で呻吟しています。情報が届かない、仲間が見えない、隣の職場の様子が分からない。そのような仲間を再度ダイレクトに繋げていくインフラをインターネットなどを通じて作っていけないか。今日職場で起こったこと、そして自分が思ったこと、社会的な事件に対しての意見、等々、なんでも気軽に発信できる民主主義の広場(アゴラ)のようなものを提供できればと思っています。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 515名

ウェブアクセス 1日 5000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本  
銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所  
普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org  
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578